



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 アース製薬株式会社

コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部長 (氏名) 三枚堂 正悟

TEL 03-5207-7458

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	93,516	10.1	10,991	△10.3	11,265	△10.3	6,597	△7.1
26年12月期第2四半期	84,932	4.4	12,249	△1.7	12,564	△3.2	7,102	△6.5

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 7,567百万円 (4.7%) 26年12月期第2四半期 7,224百万円 (△16.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	326.67	—
26年12月期第2四半期	351.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	125,180	54,816	39.4
26年12月期	101,598	49,580	43.6

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 49,351百万円 26年12月期 44,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	110.00	110.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,091	13.2	6,268	29.4	6,738	11.9	2,629	54.1	130.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	20,200,000 株	26年12月期	20,200,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	4,177 株	26年12月期	4,017 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	20,195,928 株	26年12月期2Q	20,196,091 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が総じて改善傾向にあり、個人消費にも持ち直しの兆しが見られ、株式市場も活況となるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済状況のなか、当社グループは「ベストクオリティで世界と共生」の理念のもと、「お客様目線」に立ち“お客様の満足感・信頼感を高める”経営を行い、成長力と収益力を高めるため、お客様のニーズに適う製品・サービスの開発・提供、園芸用品の展開強化、海外販売の拡充に向けた体制の整備、コスト低減活動について重点的に取り組んでおります。さらには、白元アース㈱の早期黒字化に向けた課題の解決に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前第4四半期連結会計期間より連結業績に取り込んだ白元アース㈱の売上が加わったこともあり、935億16百万円(前年同期比10.1%増)となりました。利益については、白元アース㈱の赤字計上や原価率の上昇、経費の増加等の要因により、営業利益109億91百万円(前年同期比10.3%減)、経常利益112億65百万円(前年同期比10.3%減)、四半期純利益65億97百万円(前年同期比7.1%減)と減益となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといふ季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

(参考) 白元アース㈱の2015年第2四半期(1月～6月)業績 (単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
7,373	△275	△282	△159

※ 前期は第4四半期連結会計期間より計上

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

【家庭用品事業】

家庭用品事業におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の影響は一段落したものの、企業間における競争は引き続き激しい状況でありました。

このような状況のなか、当社は新製品の発売や製品リニューアルの実施、殺虫剤の早期展開、販売促進費や広告宣伝費の積極投入などにより、市場の活性化と売上の拡大に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は868億48百万円(前年同期比9.8%増)となりましたが、白元アース㈱の赤字や原価率の上昇、経費の増加等の要因により、セグメント利益(営業利益)は100億35百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
殺虫剤部門	43,020	44,213	1,192	2.8%
日用品部門	32,177	38,321	6,144	19.1%
口腔衛生用品	16,371	16,238	△132	△0.8%
入浴剤	7,380	8,061	681	9.2%
その他日用品	8,425	14,021	5,595	66.4%
ペット用品・その他部門	3,912	4,314	402	10.3%
売上高合計	79,110	86,848	7,738	9.8%
セグメント利益(営業利益)	11,387	10,035	△1,351	△11.9%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では3,578百万円、当第2四半期連結累計期間では3,694百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

殺虫剤部門

殺虫剤部門においては、前年8月に国内で感染が確認されたデング熱への予防対策として、蚊を対象とした殺虫剤や虫よけスプレーの需要が高まりましたが、店頭消化の最盛期に差し掛かる6月の天候不順の影響もあり市場は前期を下回りました。一方、当社の市場シェア(自社推計)は57.7%(前年同期比3.2ポイント増)と大きく拡大しました。

このような状況のなか、吊り下げ虫よけ『バボナ虫よけネットW』の売上が減少したものの、ハエ・蚊用エアゾール『アースジェット』や蚊とり線香『アース渦巻香』、虫よけスプレー『サラテクト』シリーズなどの売上が大きく伸長したことに加え、園芸用品では除草剤(非農耕地用)『おうちの草コロリ』シリーズの売上増もあったことで、当部門の売上高は442億13百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、洗口液が新製品『モンダミン メディカルケア ハグキEX』の寄与などもあって堅調に推移し、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』も売上を伸ばしましたが、入れ歯関連用品『ポリデンT』・『ポリグリップ』が前期を下回ったことが影響し、売上高は162億38百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

入浴剤分野においては、『バスクリン』や『きき湯』が前期を下回りましたが、『バスロマン』の売上増に加え、白元アース(株)製品の売上が加わったことで、売上高は80億61百万円(前年同期比9.2%増)となりました。

その他日用品分野においては、消臭芳香剤やエアコン洗浄剤が前期を下回りましたが、衣類用防虫剤『ミセスロイド』やマスク『快適ガードプロ』など白元アース(株)製品の売上が加わったことで、売上高は140億21百万円(前年同期比66.4%増)となりました。

以上の結果、当部門全体の売上高は383億21百万円(前年同期比19.1%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品・その他部門においては、売上高は43億14百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、医薬品・化粧品関連工場、包材関連工場が、原料やエネルギーコスト高、工場の統廃合などを背景にコスト削減への動きを強くする一方で、昨今の食品の異物混入事件や事故の発生により「安全・安心」に対する意識はさらに高まり、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、当社は引き続き技術開発力の強化を図り、差別化された品質保証サービスの開発に努めるとともに、お客様のニーズに速やかに対応できる社内体制やネットワークシステムの構築、人材の育成などに努め、契約の維持・拡大を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は104億11百万円(前年同期比9.9%増)、セグメント利益(営業利益)は10億30百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	9,475	10,411	935	9.9%
セグメント利益(営業利益)	913	1,030	117	12.8%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第2四半期連結累計期間では74百万円、当第2四半期連結累計期間では49百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて235億82百万円増加し、1,251億80百万円となりました。これは主に、売上債権や棚卸資産が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて183億46百万円増加し、703億64百万円となりました。これは主に、仕入債務、借入金、未払法人税等が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて52億36百万円増加し、548億16百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて4.2ポイント低下し、39.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して67億11百万円増加し、191億37百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因については、次のとおりであります。

営業活動の結果、増加した資金は71億26百万円となりました。これは、売上債権が146億1百万円増加しましたが、税金等調整前四半期純利益を113億85百万円計上したことに加え、仕入債務が77億74百万円増加したことなどによるものです。

投資活動の結果、減少した資金は17億15百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が19億61百万円あったことなどによるものです。

財務活動の結果、増加した資金は12億87百万円となりました。これは、配当金の支払額が22億21百万円ありましたが、長期借入金による資金の増加が30億58百万円あったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月10日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日公表分。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が29百万円増加、退職給付に係る負債が193百万円減少し、利益剰余金が119百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,526	16,138
受取手形及び売掛金	17,486	32,081
有価証券	100	3,099
商品及び製品	16,714	19,164
仕掛品	897	623
原材料及び貯蔵品	4,616	4,310
繰延税金資産	1,582	2,202
その他	2,575	1,630
貸倒引当金	△244	△347
流動資産合計	56,255	78,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,999	22,074
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,182	△11,496
建物及び構築物(純額)	10,816	10,578
機械装置及び運搬具	10,133	10,520
減価償却累計額	△7,986	△8,208
機械装置及び運搬具(純額)	2,146	2,311
土地	8,366	8,220
リース資産	537	534
減価償却累計額	△49	△103
リース資産(純額)	488	430
建設仮勘定	1,049	1,895
その他	6,421	6,753
減価償却累計額	△5,410	△5,645
その他(純額)	1,010	1,107
有形固定資産合計	23,879	24,544
無形固定資産		
のれん	13,710	12,756
リース資産	0	29
その他	739	845
無形固定資産合計	14,450	13,631
投資その他の資産		
投資有価証券	3,339	4,052
退職給付に係る資産	2,855	3,334
繰延税金資産	139	49
その他	686	671
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	7,013	8,100
固定資産合計	45,343	46,276
資産合計	101,598	125,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,394	32,170
短期借入金	2,240	2,999
1年内返済予定の長期借入金	2,206	2,649
未払金	6,027	8,153
未払法人税等	1,116	4,758
未払消費税等	770	978
賞与引当金	422	294
返品調整引当金	726	2,228
その他	3,404	2,740
流動負債合計	41,309	56,974
固定負債		
長期借入金	7,006	9,621
繰延税金負債	1,056	1,398
役員退職慰労引当金	125	133
退職給付に係る負債	897	681
資産除去債務	449	423
その他	1,173	1,132
固定負債合計	10,708	13,389
負債合計	52,017	70,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,377	3,377
資本剰余金	3,168	3,168
利益剰余金	35,377	39,873
自己株式	△11	△12
株主資本合計	41,912	46,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	1,186
為替換算調整勘定	928	978
退職給付に係る調整累計額	782	779
その他の包括利益累計額合計	2,374	2,944
少数株主持分	5,293	5,464
純資産合計	49,580	54,816
負債純資産合計	101,598	125,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	84,932	93,516
売上原価	49,400	55,782
売上総利益	35,532	37,734
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,131	2,643
広告宣伝費	5,070	5,078
販売促進費	3,045	4,328
貸倒引当金繰入額	25	103
給料及び手当	5,185	5,971
賞与引当金繰入額	339	366
役員退職慰労引当金繰入額	10	7
旅費及び交通費	710	813
減価償却費	210	261
のれん償却額	846	954
地代家賃	422	455
研究開発費	1,043	1,138
その他	4,241	4,620
販売費及び一般管理費合計	23,283	26,743
営業利益	12,249	10,991
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	23	29
為替差益	-	11
受取ロイヤリティー	97	48
受取手数料	91	25
受取家賃	57	77
その他	137	145
営業外収益合計	411	345
営業外費用		
支払利息	23	46
為替差損	66	-
減価償却費	-	13
たな卸資産廃棄損	0	0
その他	6	11
営業外費用合計	96	71
経常利益	12,564	11,265

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	137
投資有価証券売却益	14	0
特別利益合計	14	137
特別損失		
固定資産売却損	0	7
固定資産除却損	76	6
投資有価証券評価損	-	3
厚生年金基金脱退損失	144	-
特別損失合計	221	16
税金等調整前四半期純利益	12,357	11,385
法人税、住民税及び事業税	5,149	4,802
法人税等調整額	△204	△398
法人税等合計	4,945	4,403
少数株主損益調整前四半期純利益	7,412	6,981
少数株主利益	309	384
四半期純利益	7,102	6,597

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,412	6,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	541
為替換算調整勘定	△179	50
退職給付に係る調整額	-	△5
その他の包括利益合計	△187	585
四半期包括利益	7,224	7,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,924	7,167
少数株主に係る四半期包括利益	300	400

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,357	11,385
減価償却費	638	968
のれん償却額	846	954
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,275	1,502
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△517	-
退職給付に係る資産及び負債の増減額	-	△554
売上債権の増減額(△は増加)	△20,106	△14,601
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,485	△1,863
仕入債務の増減額(△は減少)	10,513	7,774
その他	3,167	2,732
小計	5,690	8,299
利息及び配当金の受取額	27	36
利息の支払額	△23	△46
法人税等の支払額	△1,869	△1,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,824	7,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△80	-
有価証券の売却による収入	152	-
有形固定資産の取得による支出	△839	△1,961
有形固定資産の売却による収入	9	292
投資有価証券の取得による支出	△86	△6
投資有価証券の売却による収入	23	0
その他の支出	△214	△238
その他の収入	232	198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△803	△1,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	660	770
長期借入れによる収入	80	4,050
長期借入金の返済による支出	△715	△991
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,120	△2,221
少数株主への配当金の支払額	△227	△253
その他	△4	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,326	1,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	653	6,711
現金及び現金同等物の期首残高	12,843	12,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,496	19,137

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,531	9,401	84,932	—	84,932
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,578	74	3,653	△3,653	—
計	79,110	9,475	88,586	△3,653	84,932
セグメント利益	11,387	913	12,300	△51	12,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△51百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	家庭用品事業	総合環境 衛生事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	83,154	10,362	93,516	—	93,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,694	49	3,743	△3,743	—
計	86,848	10,411	97,260	△3,743	93,516
セグメント利益	10,035	1,030	11,066	△75	10,991

(注) 1. セグメント利益の調整額△75百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。